



みなさんお元気ですか？夏休みが終わった学生さんも多いと思います。夏休みに多くの学生が小豆沢病院のインターンシップに参加しました。地域病院の看護実践を見て体験して新しい発見や学びが報告されました☆患者さんから学ぶ事がいかに大切かあらためて実感できました☆



土曜講座

日程	メニュー	講師
7/18	認知症について学ぼう	看護師
9/19	足浴の実践	看護師
10/17	車椅子⇔ベッドへの移乗方法	リハビリ
11/21	一時救命処置の実践	看護師
12/19	採血の実践	看護師
1/16	糖尿病について学ぼう・栄養指導	栄養士
2/6	口腔ケアの実践	看護師

9月19日 足浴の実践

@志村さつき苑

9月の土曜講座は足浴の実践です。今回は小豆沢病院付属の老人保健施設志村さつき苑で行います。療養されている利用者さんの協力を得て、コミュニケーションを取りながら足浴を行きましょう♪さつき苑の見学も予定しています！動きやすい服装で参加してください。集合は小豆沢病院、バスで移動します。

13:50 小豆沢病院外来待合室集合

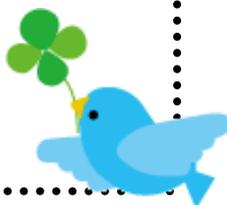
申し込み方法は簡単です

電話かメールで参加しますと伝えるだけです。当日は動きやすい服装と筆記用具持参で参加してください。資料の準備などがあるため9/16(水)17時までに申し込みをお願いします。

電話：03-3968-7993 (看護学生室直通 担当者：村上、峠)

メール：kangakusei@kenbun.or.jp

学校名、学年、名前を記入し土曜講座参加とメールしてください。



奨学生を募集しています!!

小豆沢病院の奨学生制度はお金だけの関係ではなく、毎月奨学金を受けている学生が同じ日に集まり学校での悩みや今やっていることなどを報告したり、医療の情勢を学んだりしています。奨学生になる時期や学校はバラバラですが将来同じ病院で働く仲間として学生時代からの関わりを大切にしています。

<応募資格>

- ・看護師・保健師養成機関在学者または入学決定者。
- ・養成機関卒業後当院に就職する意志があり、奨学生活動に参加できる者。

<給付金額>

月額/5万円 返済なし
東京都、日本学生支援機構など併用可



奨学金説明会 随時開催中

・事前にお問い合わせください

夏の公開講座



戦争中の医療についての話が印象に残りました。平和な時医療は人の健康を守るために行われているのに、戦争下では人を殺す目的で医療的な実験が行われた事実を知り驚きました。健康を守るための看護ができるように戦争をしてはいけないと思うことができました。

小豆沢病院では医系学生公開講座を毎年行っています。今回のテーマは「戦後70年～身近な地域から考える戦争と人権～」をテーマにフィールドワークとして板橋区郷土資料館へ行ったり、小豆沢病院の医師から戦争時の話を聞く内容でした。

これまで戦争の話を聞いたり資料を見る時は、どれだけ日本の被害がありどのような苦しみがあったのかが中心となることが多く日本が相手国に対して犯した罪、戦争を起こした経緯を知る機会がありませんでした。先生の講演を通して日本の被害と罪の両方を知って行かなければならないと思いました。



2016年卒募集中

地域を支える医療・看護

一緒にやりませんか

病院見学説明会

インターンシップ付き



私たちの病院は、いつでも、どこでも、だれでも安心して受けられる良い医療を地域の人々とともに作りあげてきました。私たちは、患者さまの生活や労働の実態も見つめ、豊かに人間らしく生きることができるよう援助することをめざし、「やさしさと思いやり」を抱いて患者様を看護しています。「患者さまのことを一番に考える看護師になりたい」そんなあなたを私たちは求めています。ぜひ、見学にいらしてください。

随時開催

申し込み・問い合わせ

小豆沢病院看護学生室 峠・村上
直通電話:03-3968-7993
mail:kangakusei@kenbun.or.jp



全てのお申込、お問合せは小豆沢病院学生室(村上・峠)まで

直通 TEL : 03-3968-7993 E-mail : kangakusei@kenbun.or.jp
携帯 TEL : 080-1236-0698

- ★ 小豆沢病院学生室は看護学生の応援をする事で、将来一人でも多くの看護師が誕生する事を願っています。そのために看護体験や土曜講座など様々な企画を行ない、通信を中心にして参加を呼びかけています。また、それ以外にこちらから病院及び関連施設におけるボランティアのご協力をお願いする事もあります。皆さんの個人情報はそのための為に活用しています。
- ★ お申し出があった時には通信の停止、名簿からの削除を速やかに行ないます。



夏のインターンシップ報告

2015年夏は学校、学年さまざまな学生がインターンシップに参加しました。実習で自信をなくしていた学生、患者さんと話をするのが苦手な学生、習得した看護技術の実践を行い確認したい学生、など目的もさまざまでした。参加することで、新たな気づきや実習病院とは違う小豆沢病院の看護実践を目の当たりにして、どの学生も輝いて見えました☆今回は参加した学生の感想を一部掲載します。今後もみなさんの参加お待ちしております。



大学1年生…回復期リハビリテーション病棟

学校では体験できない事を多く体験させて頂き、上手くできなくても分かりやすく教えてもらいながらケアができました。患者さん一人一人の希望にきちんと答えようとしている場面が多く、「しょうがない」で片付けようとせず、看護師が動いている姿に温かい病院であると感じました。回復期リハビリ病棟では在宅生活を見据え出来る事を増やしていくように取り組んでおり、病院だけの生活を考えている病院とは違って、退院前に在宅訪問などを行い患者さんと真剣に向き合う努力をしていると思いました。病気の症状だけを考えるのではなく患者さんの伝える言葉にも耳を傾け変化に気づける看護師になれたらと思いました。今回の学びを実習で活かせるように努力します。



専門2年生…地域包括ケア病棟

実習とは異なり2~3病室の患者さんを受け持ちました。様々な疾患を持つ患者さんを看る事ができ、個性の大切さを改めて学びました。まだ未熟で何もできない私ですが早く担当看護師のように患者さんに合わせた対応ができるようにしたいです。また看護師間でも頻りに情報共有や確認、相談をしていて協力合っている現場だと感じました。他職種とも連携し意見交換したり、困っている時、忙しい時はお互いに声をかけていて良いチームワークだと思いました。清潔ケアを中心に陰部洗浄、オムツ交換、寝衣交換、食事介助、バイタル測定など色々実践できました。担当看護師を中心に親身に話を聞いて下さり、分からない所も丁寧に教えて頂き勉強になるインターンシップでした。

